

リニア駅周辺 県関連3道路整備の 今後の進め方について

令和 6年11月18日(月)19:00～上郷公民館

令和 6年11月19日(火)19:00～上郷公民館

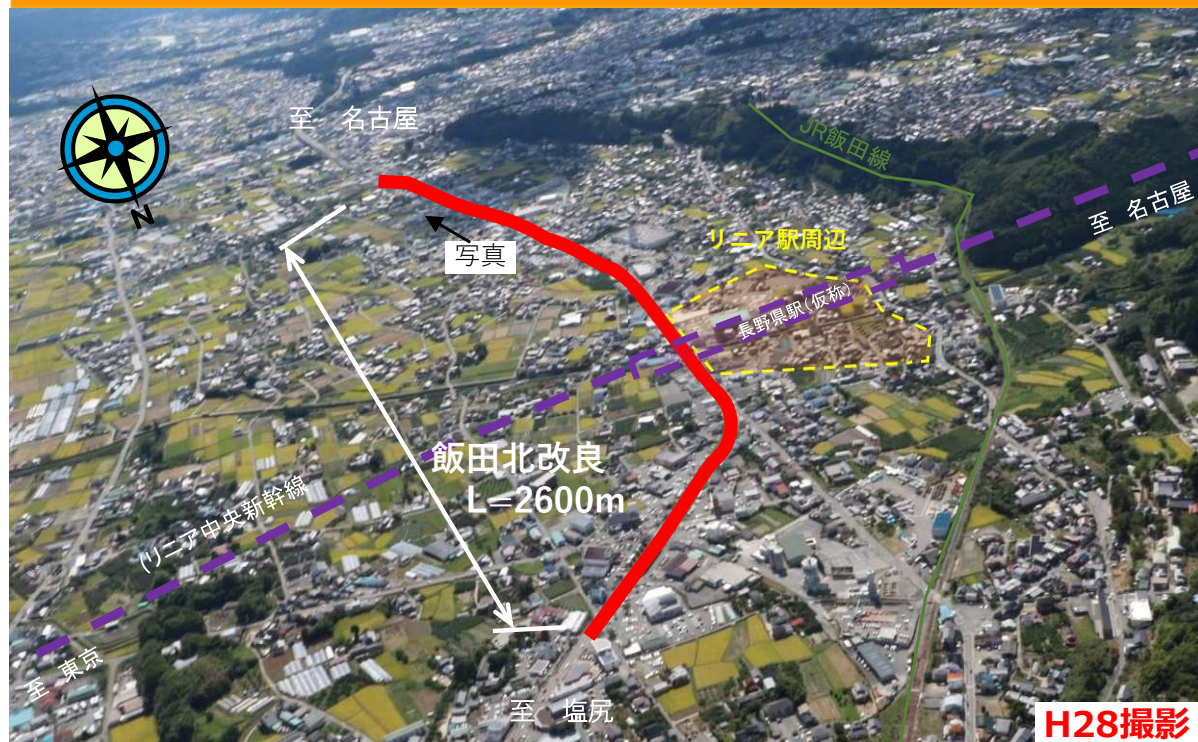
リニア関連事業に関する説明会

長野県飯田建設事務所



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

1. 事業概要(国道153号 飯田北改良)



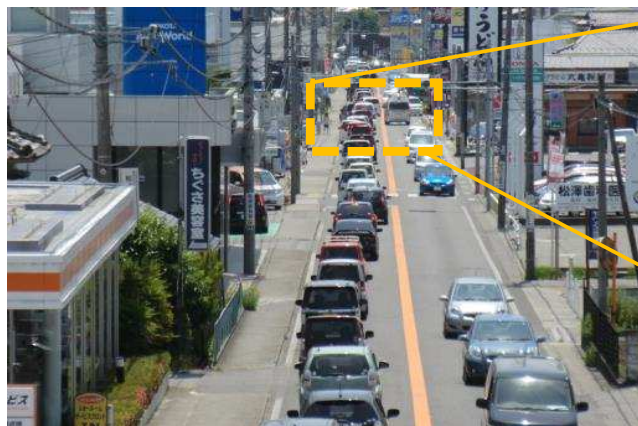
全体延長 L=2,600m

計画幅員 4車線
車道14.0~17.0m
全体25.5~27.0m

現況幅員 2車線 (平均7m)
片側歩道 (平均1m)
(一部両側もあり)

全体事業費 175億円

用地進捗率 約70%
(令和6年(2024年)3月末)

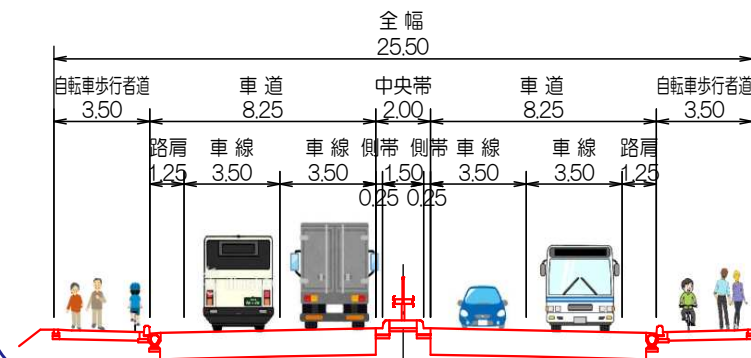


交通状況 (現在)

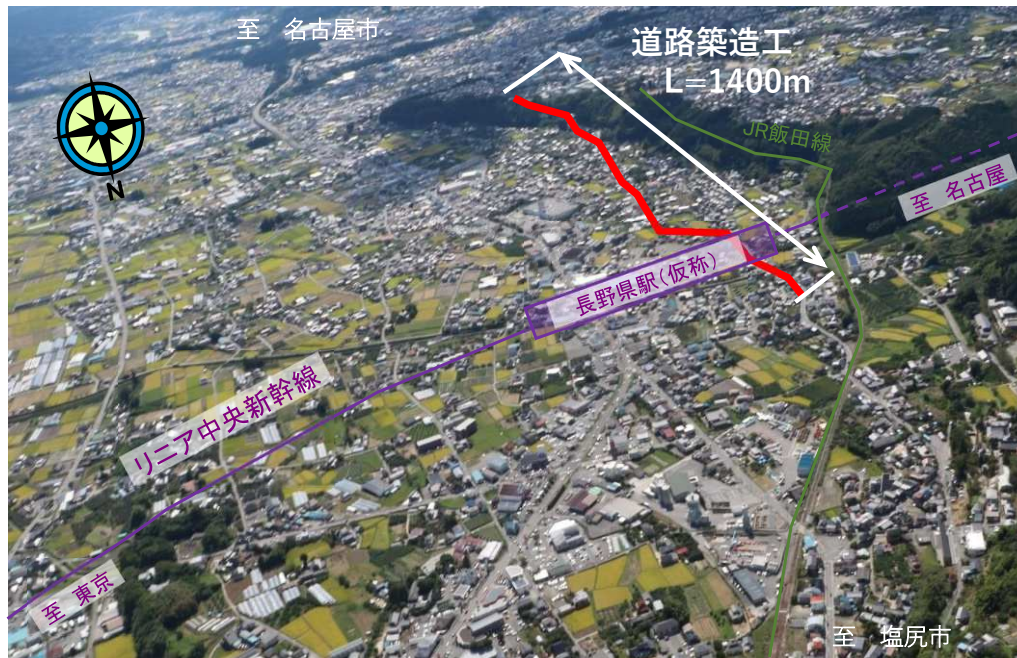


渋滞により立ち往生する救急車

飯田北改良 標準横断面図



1. 事業概要(東新町座光寺線(県道市場桜町線))



普通車のすれ違いが困難な状況



ガードレールによる歩車分離

全体延長 L=1,400m

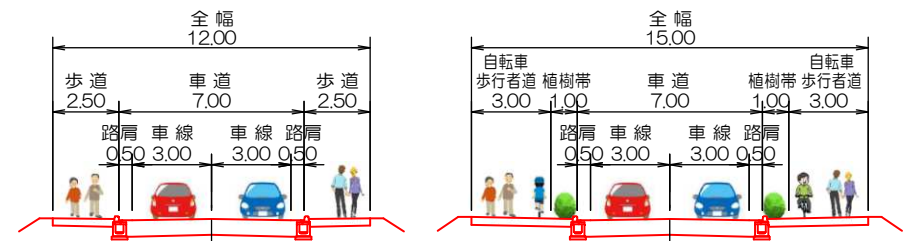
計画幅員 2車線
車道 6.0~9.0m
全体12.0~15.0m

現況幅員 2車線 (平均5.5m)
一部片側歩道・グリーンベルト

全体事業費 37億円

用地進捗率 約90%
(令和6年(2024年)3月末)

東新町座光寺線 標準横断図



2. 整備効果(環状道路の形成、時間短縮等)

リニア中央新幹線長野県駅(仮称)へのアクセス道路としての役割、市内では4車線整備で主要幹線主要幹線道路への接続が形成、慢性的な渋滞や交通事故の減少などが期待されます。(国道では円滑な交通が確保され6分の時間短縮)



凡 例

- 県事業実施中箇所
- 供用済道路 (4車線)

リニア中央新幹線長野県駅(仮称)
予想乗降客数 6,800人/日
(出典: 長野県新総合交通ビジョン)

(参考)
北陸新幹線乗車人員 令和元年度
長野 7,420人/日
軽井沢 4,042人/日
佐久平 2,691人/日
(出典: 東日本旅客鉄道株式会社HP)

3. 令和9年度(2028年3月)時点での状況

渋滞の解消や道路の信頼性、利便性の向上が期待できるなど、地域にとって重要な道路であることから、早期に効果が発現できるよう進めます。

①国道153号 飯田北改良

リニア高架橋工事による影響区間を除き、暫定4車線で供用

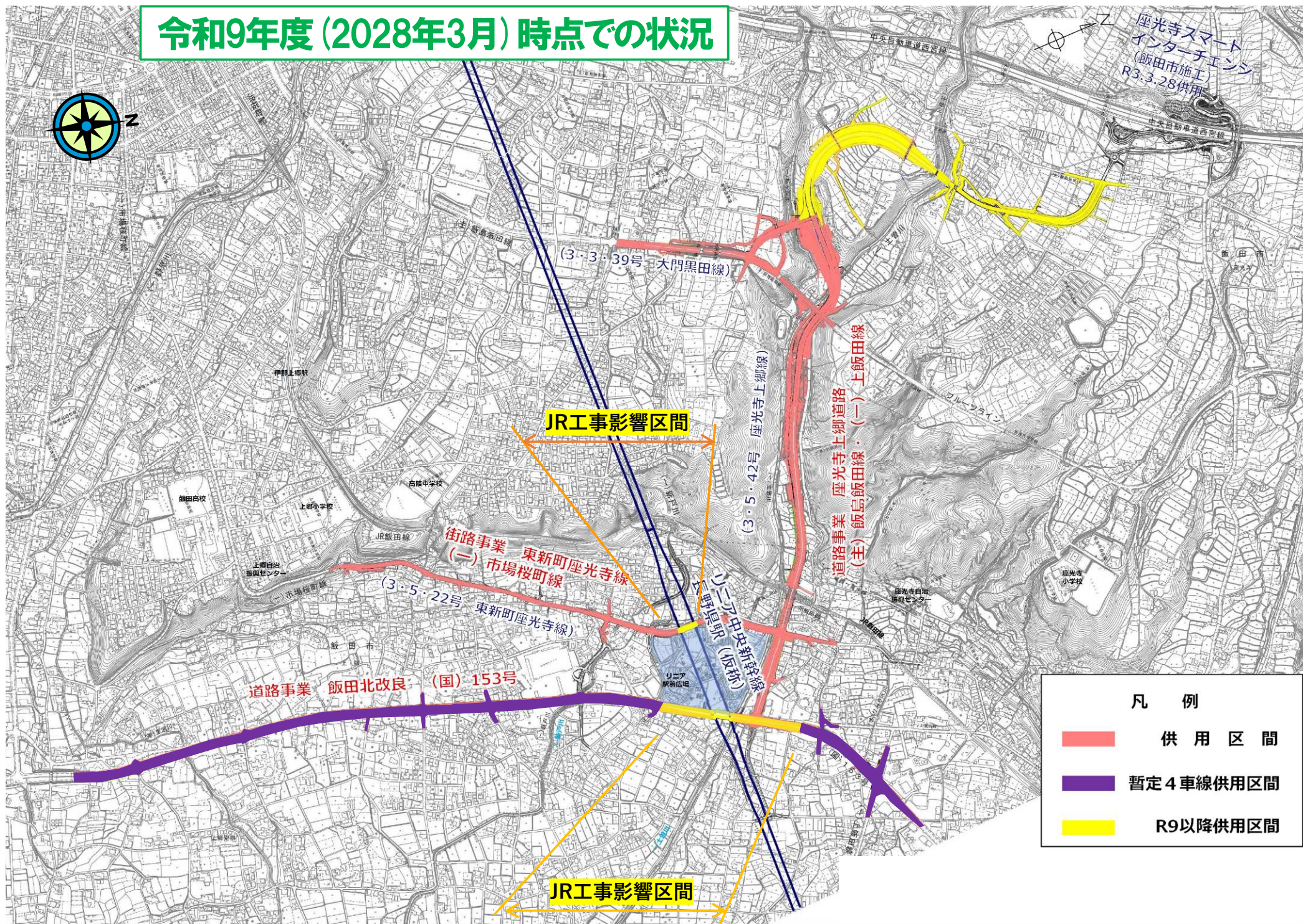
②座光寺上郷道路

国道153号(飯田北改良)～フルーツライン間の完成供用

③東新町座光寺線

リニア高架橋工事による影響区間を除き、完成供用

具体的に供用する区間、時期等については、今後の説明会等で改めてお知らせします。



4. 事業の遅れの主な理由

○リニア本線高架橋(駅工区)工事の遅れ

- ・道路と交差する区間のJR工事の遅れにより、工程に影響が発生

○用地交渉の長期化

- ・事業用地の取得が計画通りに進まず、工程に影響が発生

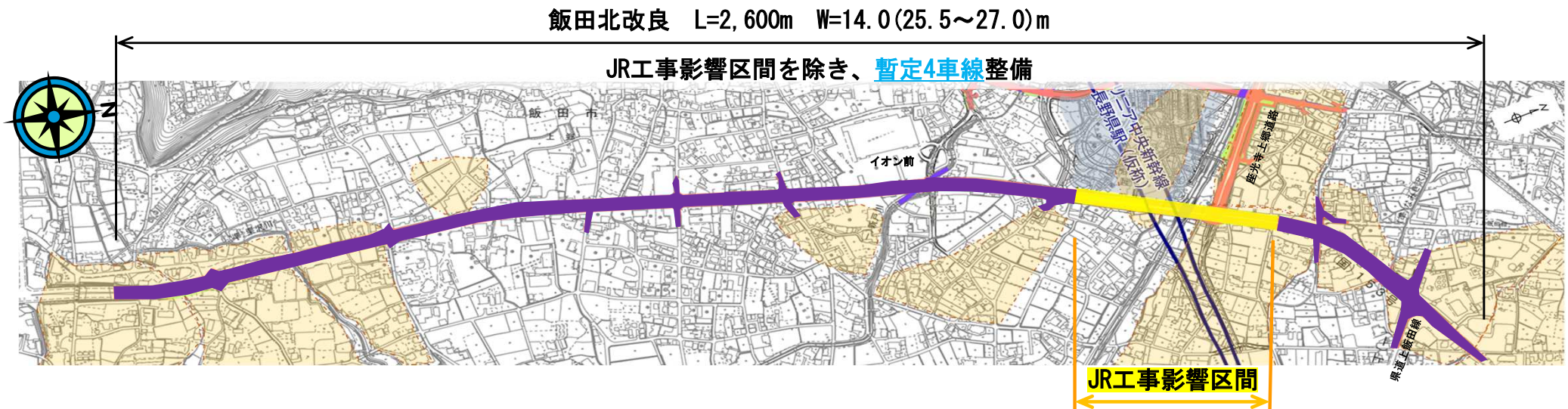
○埋蔵文化財調査、調査期間の延長

- ・遺跡過密地帯で幾層にも及ぶ遺跡や調査期間の長期化により、工程に影響が発生

5. 今後の進め方(国道153号 飯田北改良)

暫定整備の方針

- リニア高架橋工事による影響区間を除き、車道を暫定4車線
- リニア高架橋工事による影響区間は、2車線で供用
- 道路拡幅工事に合わせて電線地中化(共同溝)工事に着手
- 歩行者通路を確保し道路工事を施工

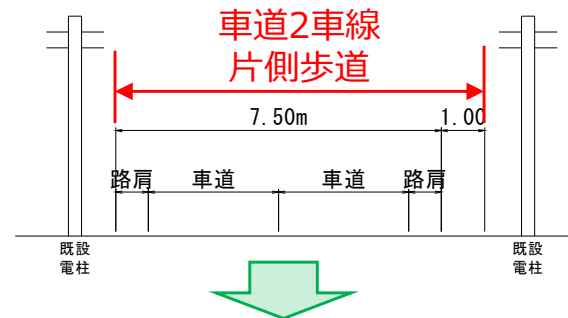


リニア高架橋工事による影響区間についても4車線化を今後、極力前倒ししていけるよう更に調整を進めます。

5. 今後の進め方(国道153号 飯田北改良)

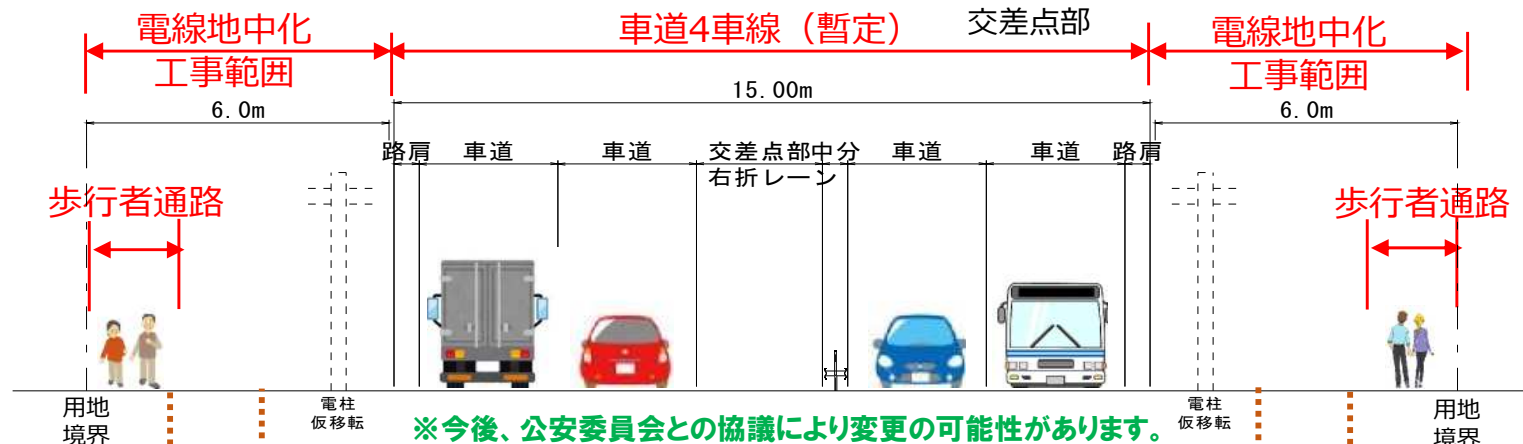
【代表幅員イメージ】

現在の幅員



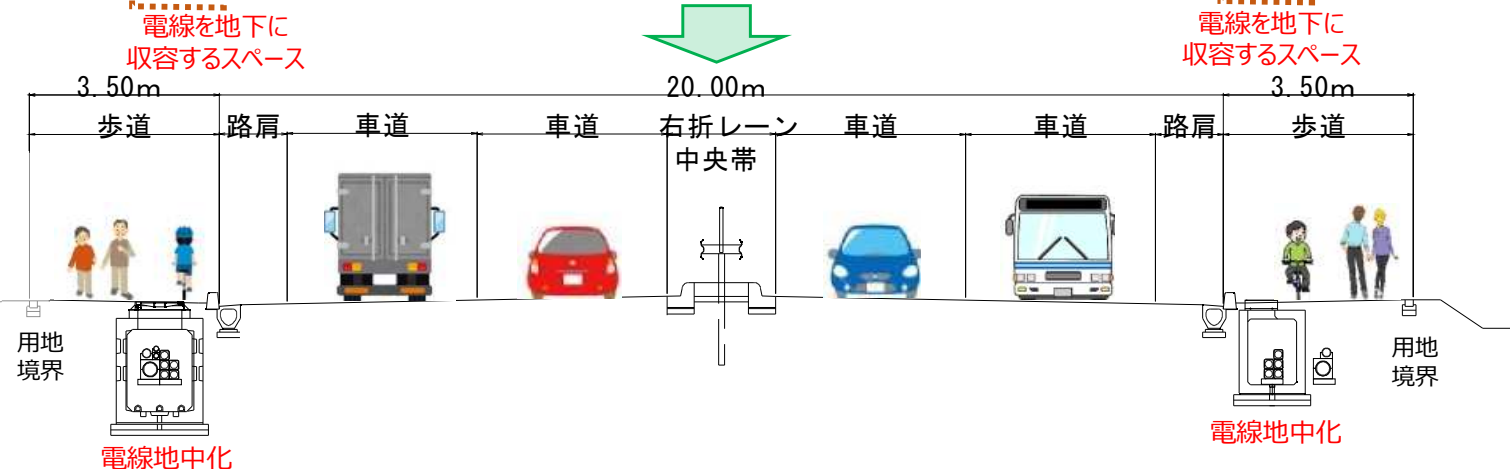
暫定4車線

- ・交差点に右折レーンを設置します。
- ・歩行者用通路を両側に整備します。



完 成

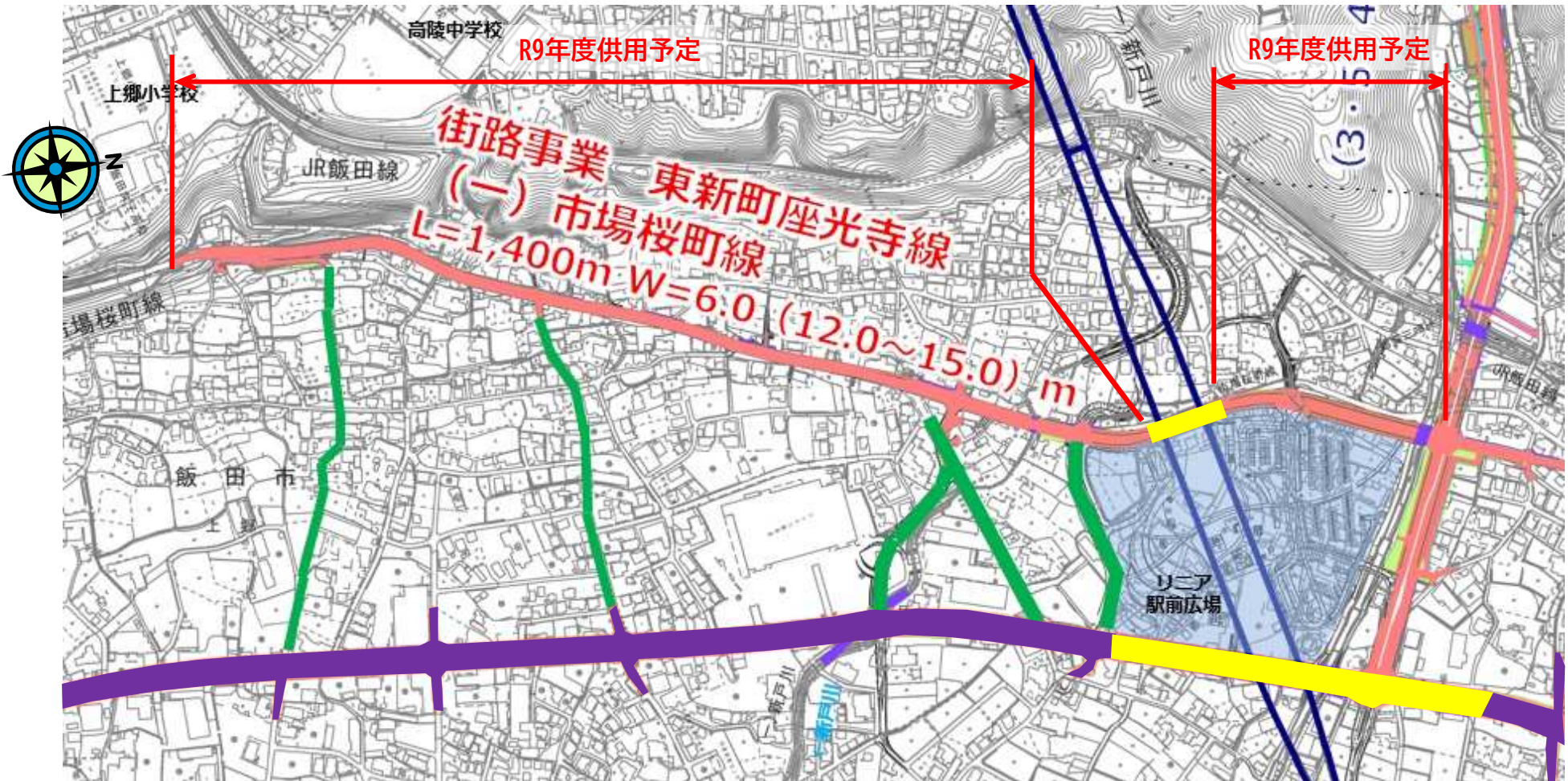
- ・交差点に右折レーンを設置します。
- ・歩道を両側に整備します。
- ・電線が地下に入ります



※店舗等からの国道への出入り等含めて工事の詳細については、今後の説明会等で改めてお知らせします。

5. 今後の進め方(東新町座光寺線)

○リニア高架橋工事による影響区間を除き、完成供用します。



リニア高架橋工事影響箇所についても今後、極力前倒ししていけるようJRと更に調整を進めます。

※工事用道路および施工期間中の現道切り回しの計画については、各工事説明会にて詳細を説明します。

市道
令和9年度以降完成区間

6. 電線地中化(電線共同溝)について

安全で快適な通行空間の確保や景観の向上、防災の観点から電線地中化の整備を電線管理者と行います。

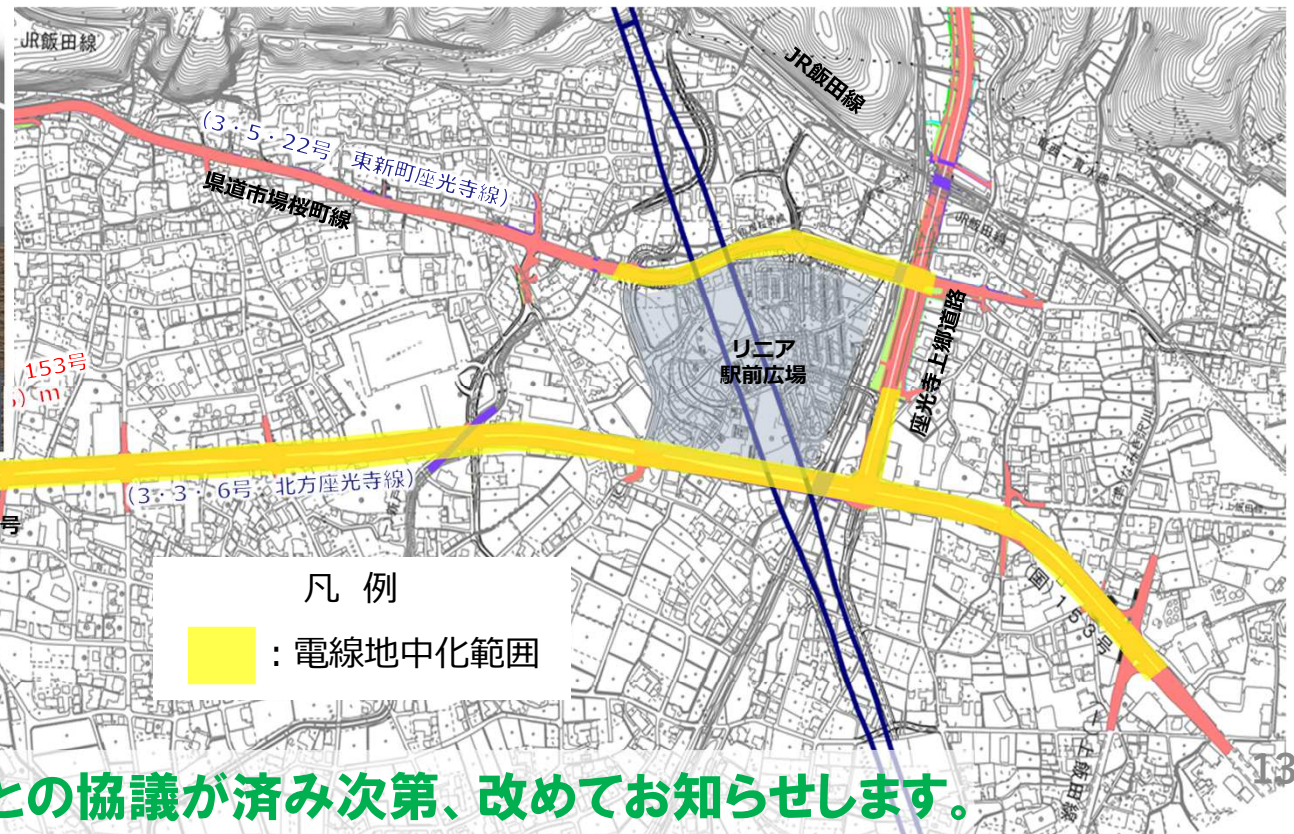
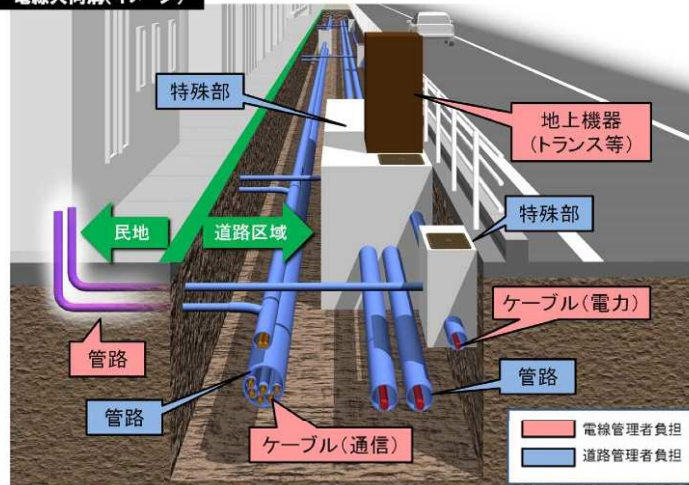


電柱・架空線の状況(国道整備前)



電線地中化が完了した箇所(県道)

電線共同溝(イメージ)



具体的な内容は電線管理者との協議が済み次第、改めてお知らせします。